

令和6年度 教育活動評価（調査）結果について

- 1 実施日：令和6年12月2日(月)～12月16日(月)
- 2 回答率：生徒93/2%（前年比+1.4%）、保護者56.9%（+3.6%）、教職員100.0%（±0.0%）
- 3 質問項目：令和6年度「教育活動評価アンケート」質問項目一覧

質問項目（○数字は質問順）		質問内容（全ての質問の冒頭に「仙台大明成高校では、」を足して答える。）
1 学校運営	⑧防災教育	災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている
	⑨開かれた学校づくり	ホームページやお便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている
	⑩施設設備	本校の令和3年度から新しくなった施設・設備はよく整備されている
	⑭総合満足度	全学年4つの学科となり、所属している学科の学習や取組は充実している
2 重点 点年 項度 目の	⑦特色ある学校づくり	『建学の精神』に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる
	⑪いじめ問題	学校として、日ごろからいじめの早期発見に取り組んでいる
	⑬ICT教育	授業はICT機器を積極的に活用して展開されている。
3 学校諸活動	①学習指導	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている
	②生徒指導	挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている
	④教育相談	教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる環境が整っている
	⑤部活動	部活動は活発に行われている
	⑥学校行事	本年度実施できた各種行事は、豊かな人間性の育成という目的を達成している
4 高大連携	③進路指導	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている
	⑫高大連携	附属高校化して仙台大学との連携・交流活動が進み、授業や実習などで成果があがっている
⑮自由記述（生徒） （保護者） （教職員）		日常の教育活動・学校運営について、御意見・御提言があれば記入してください。 日常の教育活動・学校運営について、御意見・御提言があれば記入してください。 日常の教育活動・学校運営の改革に向けた御意見・御提言があれば、記述願います。

4 全体の分析結果

- ※ 肯定的評価：「よく当てはまる」、「だいたい当てはまる」を合わせた評価
否定的評価：「当てはまらない」、「あまり当てはまらない」を合わせた評価

(1) 肯定的評価の割合が高い項目と低い項目〔それぞれ上位3項目〕

	肯定的評価の割合が高い項目		肯定的評価の割合が低い項目	
生徒	① 項目5 部活動	(90.5%)	❶ 項目1 学習指導	(72.9%)
	② 項目10 施設設備	(89.7%)	❷ 項目11 いじめ問題	(73.4%)
	③ 項目14 総合満足度	(85.1%)	❸ 項目8 防災教育	(75.3%)
保護者	① 項目10 施設設備	(91.8%)	❶ 項目8 防災教育	(72.8%)
	② 項目14 総合満足度	(90.3%)	❷ 項目11 いじめ問題	(75.4%)
	③ 項目6 学校行事	(89.3%)	❸ 項目3 進路指導	(81.7%)
教職員	① 項目14 総合満足度	(98.4%)	❶ 項目9 開かれた学校づくり	(78.5%)
	② 項目5 部活動	(96.9%)	❷ 項目11 いじめ問題	(78.9%)
	③ 項目1 学習指導	(95.2%)	❷ 項目12 高大連携	(86.4%)
	③ 項目13 ICT教育	(95.2%)		

(2) 前年度肯定的評価との比較（増減差が大きい項目ベスト3）

比 較【増加】					比 較【減少】			
	前年度と比較して	今年度	前年度	比較差	前年度と比較して	今年度	前年度	比較差
生徒	① 項目10 施設設備	82.7%	77.9%	4.8%	① 項目 8 防災教育	75.3%	77.7%	- 2.4%
	② 項目 3 進路指導	84.1%	79.7%	4.4%	② 項目 1 学習指導	72.9%	74.3%	- 1.4%
	③ 項目 8 防災教育	81.6%	77.7%	3.9%				
保護者	① 項目13 ICT教育	89.0%	83.5%	5.5%	① 項目 3 進路指導	81.7%	85.5%	- 3.8%
	② 項目 4 教育相談	84.7%	82.4%	2.3%	② 項目 8 防災教育	72.8%	76.4%	- 3.6%
	③ 項目 7 特色ある学校	88.0%	86.1%	1.9%	③ 項目11 いじめ問題	75.4%	77.0%	- 1.6%
教職員	① 項目 5 部活動	87.9%	73.0%	14.9%	① 項目11 いじめ問題	78.9%	91.7%	-12.8%
	② 項目12 高大連携	89.1%	77.0%	12.1%	② 項目 9 開かれた学校づくり	78.5%	79.8%	- 1.2%
	③ 項目13 ICT教育	95.2%	86.3%	8.9%				

5 各学科毎の回答（資料1）

6 全体の分析・考察

- ① 生徒・保護者の回答率が前年度と比較して向上した。生徒・教職員は回答可能な総数のほぼ全数の回答が得られたが、保護者については学年が上がるにつれて回答率が低いことから、一斉メール送信での協力催促のほかに、学級担任からの声がけをさらに徹底する必要がある。
- ② 今年度の肯定的評価の全質問項目の平均は、生徒81.6%（前年度79.9%）、保護者84.8%（前年度84.8%）、教職員90.6%（前年度86.7%）と増加傾向にある。
- ③ 3者ともに肯定的評価の割合が高い項目として「総合満足度」が上位にあり、肯定的評価の割合が低い項目として「いじめ問題」があげられた。そのほか、生徒・保護者とも「施設設備」の肯定的割合が高く、「防災設備」の肯定的割合が低かった。
- ④ 生徒・保護者・教職員いずれも前年度より肯定的評価が増加している。特に、3者ともに「総合満足度」が上位にあることは、各学科の教育活動全般が良く評価されていると考えられる。
- ⑤ 「いじめ問題」の肯定的評価が3者とも低かった（70%台）ことについて、昨年度は、生徒・保護者と教職員との間の認識の相違が課題だったが、今年度は3者ともに肯定的評価が低かったことが課題である。
- ⑥ 前年度との比較において高評価（第1位）は、生徒は「施設設備」、保護者は「ICT教育」、教職員は「部活動」であった。生徒や保護者については学科・学年ごとに、教職員については校務分掌ごとに分析の必要性がある。